

## 受精卵採取後の繁殖雌牛の入札会を開催

当センターでは、平成 21 年度から全国農業協同組合連合会京都府本部(全農)と協働して、全農が九州から導入した優良雌子牛を預かり、当牧場で受精卵を採取後に人工授精を行い、初妊牛として府内の肉用牛農家に供給しています。

2 月 18 日に全農による入札会(和牛繁殖農家等 30 名が参加)が開催され、分娩前 2 か月となった初妊牛 6 頭が農家に譲渡されました。

なお、これら優良雌子牛から優良な受精卵の確保に努めており、妊娠する前に計 44 個の受精卵を採取しました。



参加農家は初妊牛の性能を確認し、入札に臨みます。

畜産センター  
碓高原牧場